

第 6 回子どもの生活支援対策部会における主な意見について

御意見	取組等
離島からはオープンキャンパスに行くのにも高額な旅費がかかる。渡航費や移動費の補助など、離島の現状を踏まえた施策を検討していただきたい。	離島からのオープンキャンパスに参加するための旅費等への補助はないが、航空・航路運賃軽減事業により、離島住民の方の負担軽減が図られているところである。
子育て世代包括支援センターのように、ひとつの窓口が出産前から経済的な支援とセットで親の支援に取り組むのは重要。	子育て世代包括支援センターは、令和 2 年度から令和 3 年度にかけて 17 市町村で設置され、現在、37 市町村で利用されている。県内全市町村で利用できるよう今後とも設置を促進してまいりたい。
放課後児童クラブも幼児教育・保育の無償化のような取組を求めたい。	放課後児童クラブの利用料については、無償化とともに、無償化するまでの間の減免制度の創設を、国に対して要望しているところである。
中学 2 年生が「かごしまの子どもたち未来応援ガイドブック」にアクセスするためには、生徒に身近な先生の役割等が重要。	中学校へのアンケートでは、「教職員も様々な制度について理解の個人差があり、研修資料としても役立っている」、「進路学習の時間に利用できた」といった御意見をいただいております。先生方に活用いただいていると考えています。
鹿児島島の魅力を中学 2 年生に伝えるのは重要なため、伝え方には工夫してほしい。	鹿児島島の良さを紹介した県のホームページの QR コードを入れるなど工夫し、できるだけわかりやすい文面になるよう心がけたところである。